

令和8年1月12日（月・祝）《午後》
第13期Aコース研修生 「修了式」

令和8年1月12日（月・祝）に、第13期Aコースの「修了式」が教職員研修センター視聴覚ホールで挙行されました。修了生、修了生保護者、教育庁関係者が列席しました。

第13期Aコースの修了生は令和6年7月に次世代リーダー育成道場に入校後、国内での研修と令和7年1月から約1年のオーストラリア・ニュージーランドでの留学生活を経てこの修了式を迎えました。

まず、64名の修了生一人一人に、次世代リーダー育成道場長・教職員研修センター所長から、修了証書が授与されました。

修了証書授与後に教職員研修センター所長から、「皆さんは留学先で様々な困難を乗り越え、多様な価値観を理解する姿勢・態度、課題の解決に向けて異なる文化的背景を持つ人々と協働する力、そしてその上で必要となるコミュニケーションなどを培うことができたでしょう。皆さんは、その経験を生かして、次世代リーダー育成道場で得たみなさんたちでしか分からない経験を自分の言葉で周囲の人たちに伝えてほしいということ、次世代リーダー育成道場で身に着けた力を地域や社会に還元して欲しいこと。夢や目標の実現に向け、具体的な行動を起こしてほしいこと」と3つのことを期待する言葉を述べました。

続いて、修了生の代表から、「今回の留学で、日々たくさんの方に刺激を受け、一つ一つの経験が私たちの価値観や物事の見方を広げました。私たちが求められていることは、それぞれがそれぞれの未来へと歩みだし、東京都や日本、さらには世界に貢献できる人材となり、より良い未来を作ることだと思います。そして最後に今回の留学に携わった人たちすべての人たちに感謝させていただきます。」と次世代リーダーとしての姿勢を述べるとともに、次世代リーダーの取組に対して感謝の意を述べました。

修了生たちは、次世代リーダー育成道場のプログラムを修了したという達成感を感じていました。



令和8年1月12日（月・祝）《午後》
第13期Aコース研修生 「成果発表会」

オーストラリア及びニュージーランドへの留学を終えて帰国した第13期Aコース修了生の代表が、英語によるスピーチとゼミナール研究発表を行いました。

英語スピーチ（10分）では、3名の修了生がそれぞれの留学経験を振り返り、自身の成長や学びについて発表しました。オーストラリア・クイーンズランド州に留学した修了生は「Learning Through Hardship and Experience」、ニュージーランドに留学した修了生は「A Year of Growth and Discovery」、オーストラリア・南オーストラリア州に留学した修了生は「How Studying Abroad Broadened My Horizons」をテーマに、留学生活を通して得た気付きや変化を、自分の言葉で堂々と語りました。

続いて行われたゼミナール研究発表（20分）では、2名の修了生が研究成果を報告しました。オーストラリア・南オーストラリア州に留学した修了生は、日本語で「介護現場におけるAIの活用～日豪の比較から見る『点』と『線』～」をテーマに発表しました。また、ニュージーランドに留学した修了生は、英語で「相談できるカウンセリング室—日本とニュージーランドの制度から考える、生徒に届く制度設計とは—」をテーマに報告しました。

いずれの発表も、留学先での生活や現地調査の様子が目に浮かぶ内容で、日本での研究に留学先での調査・考察を加えた、価値ある成果となりました。留学を通して身に付けた表現力やプレゼンテーション能力を生かし、自信に満ちた堂々としたスピーチや発表が行われ、研修生一人一人の成長が強く感じられる場となりました。

